


環境情報利用分野

地水環境工学研究室


「**土壌**・**植物**・**大気**」に着目し、気候変動の影響評価や適応技術の確立、さらには沙漠の緑化などに役立てようとしています。このように当研究室は、気象や土壌といった環境情報を測定し、植物の生体情報との関係を観測によって明らかにすることにより、自然環境の保全や改善に貢献する研究を行っています。



沙漠緑化
へ向けて



乾燥地での
農業を
目指して



気候変動
の
影響評価

イベント・ゼミ

稲作りや研修旅行のイベントやゼミなど、実学を通して研究に専念することが出来ます。座学だけではなく、実体験することで知識・技術を身に付けることが可能な環境があります。



↑ 研修旅行



↓ 代かき



↑ 田植え
ゼミ →



留学生との交流

留学生はそれぞれのバックグラウンドを持ち研究室員として活動しています。交流を図ることで、英語力の向上はもちろんのこと、現地の文化など生の情報を得ることが出来ます。



主要な卒論テーマ

- ・土壌硬度と水管理の違いが作物生育に及ぼす影響
- ・東京農業大学網走寒冷地農場の水動動態について
- ・畦間灌漑における適性給水量の推定について
- ・降雨パターンの変化が土壌の湛水に及ぼす影響

卒業生の主要な進路

公務員／教員
国家公務員／都道府県庁／市・区役所／中・高教員
民間企業
建設会社／農業土木・設計コンサルタント／
その他業界

所属教員

渡邊 文雄 教授

～ 主な研究テーマ ～

- 植物の生体情報を指標
とした適正灌漑時期の判定
- 雨水や灌漑水の有効利用を目指した
土壌の浸潤能評価



鈴木 伸治 教授

～ 主な研究テーマ ～

- 気象・土壌情報を利用した
乾燥地農地の保全と生産性向上
- 気候変動が寒冷地農地の
熱・水環境に及ぼす影響

